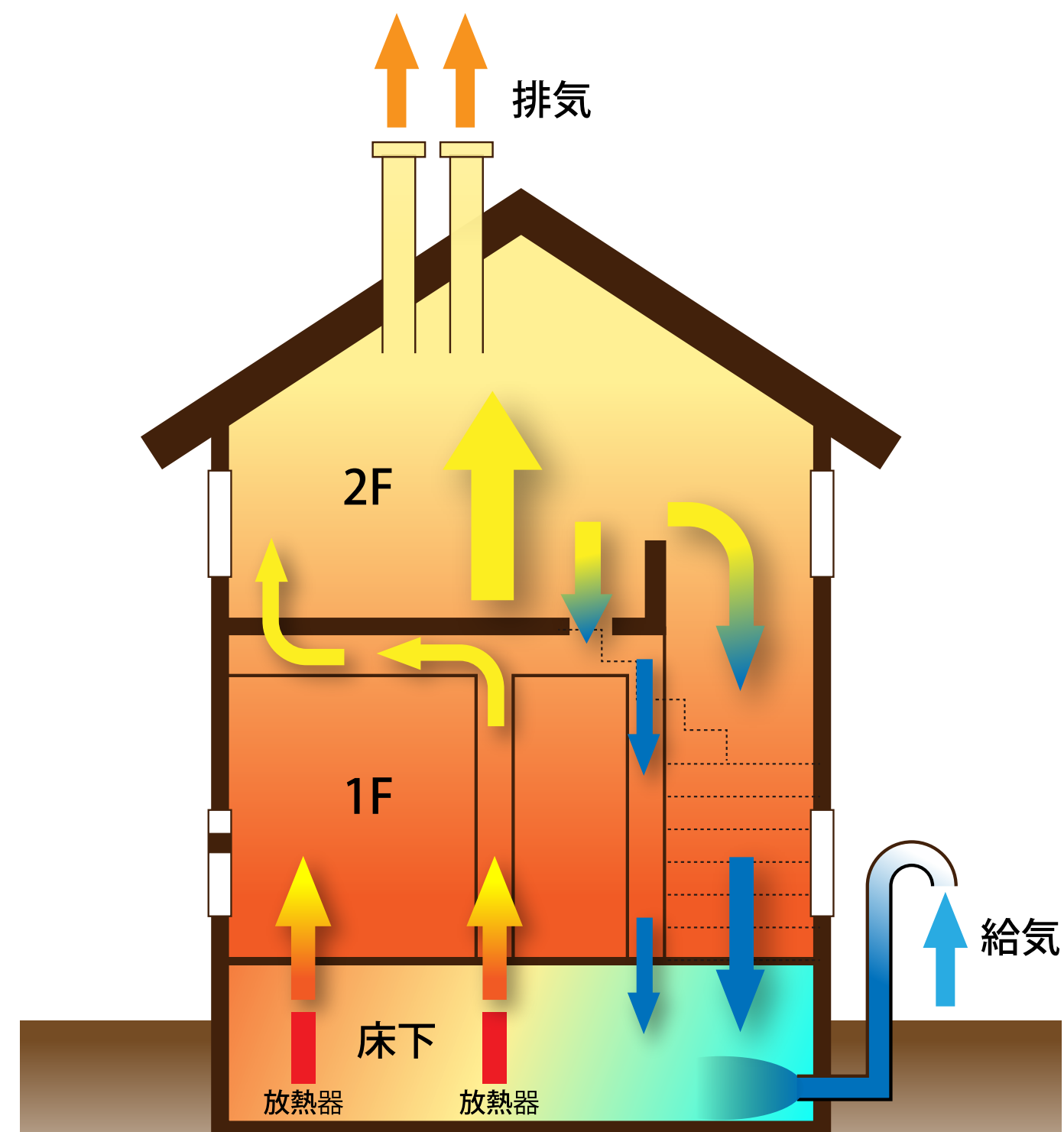


🏠 パッシブ換気とは…

パッシブ換気は、建物内外の温度差、つまり室内の暖かく軽い空気の浮力を換気の主たる動力源とする「計画自然換気」です。

住宅内の空気の流れをコントロールして必要かつ十分な換気量を確保することが計画換気ですから、家のスキマや外壁の単純な換気口に頼った従来の「成り行き任せ」の自然換気と厳密に区別するために、パッシブ換気と呼んでいます。

「パッシブ」とはご存知のとおり「受動的＝機械を基本としない」という意味です。現在一般的な、機械設備を用いる「アクティブ＝能動的」換気の弊害を補って余りある、たいへん優れた換気手法です。



「パッシブ換気・床下暖房のすすめ」より
(北方建築総合研究所監修、NPO パッシブシステム
研究会編集、(財)北海道建築指導センター発行)

● 当会では、パッシブ換気住宅の構造上の必要条件として、次の2点を定めています。

- 1) 床下吸気であること
- 2) 室内に、空気の上昇・下降のための間仕切り壁と床ガラリがあること

● また、パッシブ換気を実現するために必要な住宅性能として、次の2点を定めています。

- 1) 隙間相当面積 (C 値) 1.0 以下
- 2) 熱損失係数 (Q 値) 1.6 以下